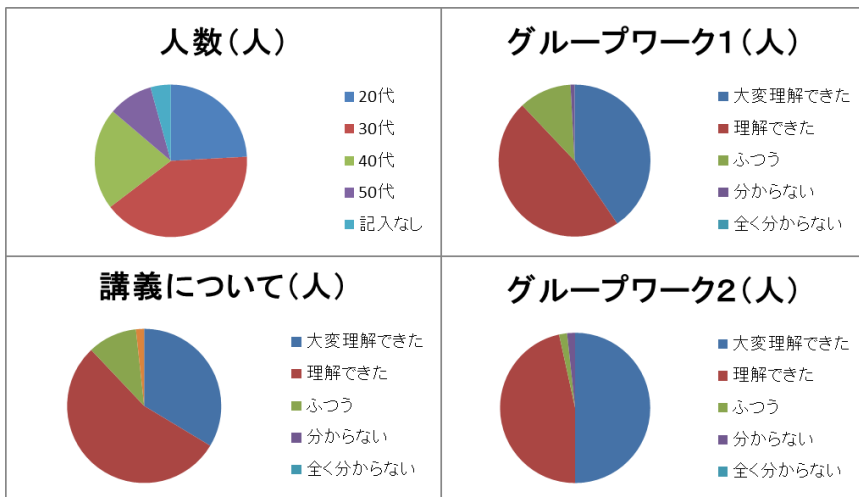


平成 27 年度小児がん中央機関 医療者育成事業
 小児脳腫瘍多職種診療チーム研修 アンケート集計
 (平成 28 年 2 月 13 日 ベルサール八重洲)

参加人数(人)	回答者(人)	回答率(%)
127	116	91.3

	はい	いいえ	記入なし
出張扱い(人)	63	49	4



【講義の内容はいかがでしたか】

- ・他院の多職種にわたる取り込みが聞けてよかった。
- ・多職種の役割が明確に説明されていた。
- ・子どもを支えるサポートチームは、患者・家族・スタッフのために治療を進めていく上でとてもよいと思った。
- ・成育医療センターの取り組みが理解でき OT 全ケース介入など学ぶことが多かった。

【グループワーク 1 はどうでしたか】

- ・色々な病院でそれぞれの医療資源、限られた職種の中で情報共有ができてよかった。
- ・他施設の人と話しができた事で自分の施設の良い点足りない点が見えた。
- ・自分の病院では普段関わりのない職種の方も他院ではチームの中で活躍されていて羨ましいと思った。
- ・他施設の状況が聞けてよかった。多職種のカンファレンスの効果を実感できた。
- ・話を始めるとたくさん論点があり、もっと1つずつ話したかった。現場はもっと話し合いの時間がないので工夫が必要と思った。

【グループワーク 2 はどうでしたか】

- ・同じ病院でもあまり集まらない職種の人と議論できた。自施設の改善点を整理することができた。
- ・グループワーク 1 の情報を自分の病院に役立つものにできた。
- ・ゆっくりディスカッションをする時間がなかなか取れないので有意義な時間だった。
- ・多職種全てが参加できる CF は難しく、情報共有の困難さ、大切さを知った。

【中央機関に望むこと】

- ・モデルになってほしい。支援をしてほしい。
- ・地域でもこのような試みができるように協力をお願いしたい
- ・脳腫瘍は全体的に治療なども不明な部分が多いので定期的開催してもらいたい
- ・今回のような多職種の間が集まってより現実に即したディスカッションをする機会を作っていただきたい
- ・臨床にすぐにでも役立つ情報。学会ではなく手軽に参加できる場がほしい。
- ・機能的に小児脳腫瘍患者を診療しているチームでのリアルな臨床やシステムに関して教示頂きたい。
- ・テーマを持って定期的開催してほしい。
- ・グループケア、兄弟支援、AYA 世代支援など心理社会面のケアについて先進的な取り組み、事例などの情報共有ができればうれしい。
- ・医療に携わらない職種でも理解できるような勉強会をしてほしい。